

暁映ゆる

第 25 号

発行責任者 小野誠治

編集者 平賀正文

芳谷伸洋

— 巻頭挨拶 —



支部長 小野誠治(学 28 期)

あけましておめでとうございます。仁泉会の諸先生におかれましては、年の初めを新しい気持ちで迎えられたと存じ、心からお喜び申し上げます。

仁泉会広島県支部の支部長の小野誠治です。昨年、広島は広島東洋カープの大活躍、25 年ぶりの優勝で盛り上がりました、残念ながら、日本シリーズでは日本ハムファイターズに敗退しました。今年の宿題が残りました。25 年前の優勝の時の記憶はあまりありませんが、初優勝の時はよく覚えています。昭和 50 年で、

私は学部 1 年でした。優勝が決まるころはちょうど解剖実習中でテレビを見ている時間が多く、ピーコンをうけました。

さて、仁泉会広島県支部では、ANA クラウンプラザホテルで 6 月 17 日に支部総会をおこないました。仁泉会副理事長 安藤嗣彦先生に「仁泉会の現状について」の講演をして頂きました。その後懇親会で楽しい時間をすごしました。出席者は会員 24 名でした。また、5 月 29 日にゴルフコンペを参加者 7 名で開催しました。今年の総会は、6 月 10 日に母校耳鼻咽喉科准教授 萩森伸一先生をお招きして講演を行う予定です。多くの先生方の出席をお願いします。

仁泉会の理事として理事会に 4 回出席しました。仁泉会では、引き続き、支部会活動の活性化をめざしており、各地で懇親会を開いています。昨年は九州、北陸地方懇親会を開催しています。関東地方の理事の酒谷 薫先生を中心として、東日本支部の活動も始まりました。が決まり来年も関東地区懇親会が開催される予定です。

同窓会名簿を発行しました。昨年末に届いているとおもいます。届いていない先生は連絡下さい。名簿発送時にいつも問題になるのですが、会費未納入の先生方にも発送しています。未納入の先生は、納入をお願いします。

仁泉会総会は、5 月 29 日に京都ホテルオークラで行われました。出席者は例年と同じく出席者は少なめでさびしいかんじでした。今年は 5 月 28 日に神戸ポートピアホテルで開かれま

す。広島県支部の皆さまふるって参加して下さい。

最後に、今年も新年会を平成 29 年 1 月 19 日に開催しました。参加者は 10 人でした。

今後も新年会を企画しようと思っておりますので参加をお願いします。

—平成 28 年

仁泉会広島県支部総会報告—



幹事 清水 泉 (学 28 期)

平成 28 年 6 月 11 日 (土) 18 時 30 分より、ANA クラウンプラザホテル広島において、平成 28 年仁泉会広島県支部総会を行いました。

出席者 (敬称略) は、大崎洲 (学 12 期)、福永晶 (学 14 期)、平田忠範 (学 19 期)、八木徹 (学 20 期)、灰塚隆敏 (学 23 期)、松野堅 (学 23 期)、飯島崇史 (学 25 期)、小野誠治 (学 28 期)、清水泉 (学 28 期)、岡東周一郎 (学 31 期)、岸和彦 (学 31 期)、伊達幸生 (学 32 期)、中崎育明 (学 34 期)、貞岡達也 (学 35 期)、湯川修 (学 36 期)、平賀正文 (学 38 期)、田村健司 (学 42 期)、津田幹夫 (学 43 期)、長尾光史 (学 44 期)、芳谷伸洋 (学 45 期)、藤村憲崇 (学 49 期)、谷充理 (学 50 期)、久保田益亘 (学 54 期)、松村誠也 (学 56

期) の支部会員 24 名でした。なお、田村先生は山口県光市から出席されました。

谷幹事の司会で支部総会が始まり、まず、小野支部長 (仁泉会理事) より開会の挨拶と仁泉会理事としての活動状況が話され、その後、この 1 年間に物故会員になられた高 15 期の神田一郎先生、学 1 期の池田多加志先生、学 21 期の八木敦夫先生、学 25 期の米花孝文先生に対しまして黙祷いたしました。さらに岡東幹事より会計報告、清水より監査報告があり、総会で承認されました。

総会後の特別講演では、小野支部長に座長を御願ひし、仁泉会副理事長の安藤嗣彦先生 (学 20 期) に「仁泉会ならびに大阪医科大学の現況と今後のビジョン」という演題で御講演いただきました。御講演内容は以下の通りで、大学においては、高槻中高との合併、大阪薬科大学との法人合併、三島南病院を分院化し運営開始したこと、健康科学クリニックにつて、手術棟の建設、BCNT の設置、大阪医科大学の建学の精神「至誠仁術」について、イノベーション、グローバル化など大学の今後の目標について、仁泉会については、法人改革後の状況、仁泉会基金を奨学金に当てていること、同窓会活動が低下傾向にあり、現在、その対策を進めていることなどでした。

講演会終了後、その場で集合写真を撮り、伊達幸生幹事の司会で懇親会を行いました。まず、会員慶事としまして、喜寿の福永晶先生 (学 14 期) と藤村節子先生 (学 15 期)、古希の佐々木尚先生 (学 21 期) と藤井俊宏先生 (学 21 期) と埴水尾哲也先生 (学 22 期) と高場憲夫先生 (学 30 期) が紹介されました。慣例に従い、古希の 4 人の先生に記念品が贈呈されます。いつまでも御元気で、活躍されることを願っております。宴席中、中崎幹事より 5 月 29 日に呉市の郷原 CC で行われましたゴルフコンペの成績発表をしていただき、さらに出席支部会員の自己紹介と近況報告などで大変盛り上がりました。なお、今回は若い先生方の出席が多く、最近では最も多くの支部会員が出席されました。

最後に、恒例となりました学歌を全員で肩を組み斉唱し、盛況のうちに、21 時 25 分に終了しました。

平成 28 年大阪医科大学仁泉会広島県支部総会・懇親会出席者



前列左から（敬称略）

松野堅（学 23）、平田忠範（学 19）、福永晶（学 14）、安藤嗣彦（学 20）、小野誠治（学 28）、
大崎洲（学 12）、八木徹（学 20）、灰塚隆敏（学 23）

中段

清水泉（学 28）、伊達幸生（学 32）、谷充理（学 50）、田村健司（学 42）、松村誠也（学 56）、
久保田益亘（学 54）、平賀正文（学 38）

後段

岡東周一郎（学 31）、貞岡達也（学 35）、岸和彦（学 31）、飯島崇史（学 25）、中崎育明（学 34）、
湯川修（学 36）、長尾光史（学 44）、芳谷伸洋（学 45）、津田幹夫（学 43）、藤村憲崇（学 49）



—仁泉会広島支部ゴルフの会—

—平成 28 年仁泉会広島県支部

ゴルフの会成績—

伊達幸生 (学 32)

今年のゴルフコンペは 5 月 29 日に行われま
した。

昨年までは東映 CC で行っていましたが、「他
のコースも回ってみたい」と言う声が多く、津
田先生に、ホームコースの郷原 CC をとって
いただきました。

天気予報通り、朝から小雨が降ったりやんだ
りのあいにくの天気でしたが、和気藹々とプレ
ーできました。

優勝は、最年長の大崎先生でした。

「練習していない」、「飛ばなくなった」とぼや
きながら、ドライバーは、結構な飛距離で、し
かもほとんど曲がらず、フェアウェイをキープ
していました。スタートホールティーショット
以外は大きなミスはなく、安定したプレーで
した。

来年もこの時期に行う予定ですが、参加者が
年々減少しています。

ゴルフをされる先生は、ぜひご参加いただくよ
うお願い致します。

5 月 29 日

郷原カントリークラブ

	OUT	IN	Gross	HC	Net
優勝 大崎 洲	50	46	96	22.8	73.2
2 位 伊達幸生	47	45	92	18.0	74.0
3 位 梶川 博	50	47	97	19.2	77.8
4 位 津田幹夫	46	41	87	8.4	78.6
5 位 中崎育明	56	56	112	30.0	82.0
6 位 長尾光史	58	52	110	27.6	82.4
7 位 灰塚隆敏	53	56	109	26.4	82.6

— 会員消息短信 —

仁泉会広島県支部総会出欠葉書に近況を掲載されておられて、掲載許可を得られた会員の近況報告を掲載します。(平賀)

学2期 谷川 篤朗

健診センターの仕事も辞めました。ゴルフもやらず、習字に専念しています。

学3期 武田 啓志

小児科の診療を続けています。学校医、園医を沢山担当し特に5月は多忙です。趣味の方も充分楽しんでます

学9期 前田 中

午前中の診療で毎日です。御盛會を祈念申し上げます。

学14期 福永 晶

6月11日と12日に広島へ用事で帰広しますので、勝手ながら出席させて頂きたいと存じます。なお、安藤嗣彦先生には主治医として大変お世話になっており楽しみにしております。

学19期 平田 忠範

元気にしています。支部総会に多くの会員が出席され、盛會になりますように祈念致します。

学20期 村上 不二雄

御盛會をお祈りします。

学20期 八木 徹

特に変わりなく、開業医業を行っております。

学21期 佐々木 尚

元気でやっています。

学22期 木村 邦夫

隠居したいと思っているのですが出来そうにありません。

学22期 塚水尾 哲也

安藤先生は医局(一般・消化器外科)の先輩で、お会いするのを楽しみにしています。

学22期 豊田 秀三

6月12日県医師会定例代議員の打ち合わせがあり欠席します。今年の参議院議員選挙自見はなこを宜しくお願い致します。

学23期 檜崎 幹雄

元気でやっています。

学23期 灰塚 隆敏

時刻表を見ながらのローカル列車の旅にはまっています。

学27期 松田 道雄

腹部CTにて高度の内臓脂肪を指摘され、比

治山ウォーキングに励んでおります。皆様のご健康を祈っております。

学28期 稲垣 和郎

元気に診療しております。

学33期 伊達 健二郎

広島赤十字・原爆病院産婦人科勤務が4年目になりました。

学35期 貞岡 達也

日々の行事に追われています。

学38期 平賀 正文

南区医師会の理事をまだしています。

学43期 津田 幹夫

開業してから8年が経ちました。今のところ元気にやっています。大学時代の友人が広島へ来た時に会いに来てくれるのがいつも楽しみです。

学45期 芳谷 伸洋

早いもので卒業後20年がたとうとしていますが、何か成長できているのか否か自問することが増えました。変わらず眼科診療をのんびりしています。

学46期 浜井 洋一

現在広大消化器外科(原研腫瘍外科)に勤務してがんばっております。今日も欠席させていただきます。先生方のご健康とご多幸を御祈り致しております。

学49期 藤村 憲崇

本年より実家を手伝うことになりました。

学56期 松村 誠也

卒後10年になりました。広島大学大学院循環器内科で大学院生を致しております。

— 会員からのお便り —

佐々木尚先生(学 21 期)と藤井俊宏先生(学 21 期)と堰水尾哲也先生(学 22 期)と高場憲夫先生(学 30 期)が古稀を迎えられました。先生がたに記念品をお送りしました。藤井俊宏先生、堰水尾哲也先生、高場憲夫先生よりお便りをいただきましたので、ご紹介いたします。(平賀)

高槻時代の思い出(みたいなもの)

藤井 俊宏 (学 21 期)

古来稀なる年齢まで生きるなんてことは学生時代には考えもしなかった。来年だと思っていたら、数えで 70 歳だということも知らなかった。還暦は満年齢なのに・・・高槻時代のことは懐かしい思い出として記憶に残っている。夏目漱石の『三四郎』に出てくる主人公と同じだ。田舎から都会に一人で出てきて生活し、徐々にいろいろなことを経験し成長(?)していく物語りのようなものだから。サッカー部、文芸部、大学紛争、執行部時代、学 1 問題の提起、闘争委員会、授業ボイコット、大学封鎖と解除、ついでに勉強など、あれこれと忙しかったけど、もう一度やり直したいとは思わない。さて何を書こうかな? 大学紛争のことは膨大な量となり書き切れないのでやめておこう。それでは大学時代の飲食生活を中心に少し書いてみようかな。でも何の参考にもならない私の独り言になるでしょう。

昭和 41 年頃の時代背景

コンビニや自動販売機は全くなかった。だから夜間に腹が減っても食べるものを得るのに苦労した。金がないときはいつも絶食にしていた。インスタントラーメンは夜食用としてチキンラーメンを箱ごと買って食べていた。当然具はなんにもありません。本格的な自炊をするという考えは、下宿なので全く頭に浮かばなかった。

真壁家

昭和 41 年(1966 年)に入学した。私は大

学本部と教養部の真ん中にある、高槻市のど真ん中京口町で下宿生活を始めた。80 歳を過ぎたおばあさん一人との共同生活であった。最初から最後まで 6 年間下宿を変わるつもりはなかったし、現実には変わらなかった。これは性格かなあと思う。おばあさんは食事が作れないとのことであったが、1 ヶ月に 1 回ぐらいちらし寿司をごちそうしてくれた。いつも大きなエビの入った豪華なちらし寿司だった。おばあさんの息子さんは私の歳の頃に太平洋戦争の特攻隊で亡くしたと聞いた。名を真壁さんといい、関東にあった真壁城の城主の末裔であったとのこと。でも思い違いかも知れない。今となっては残念ながら確認のしようがない。下宿は大きな平屋の家であり、庭も広がったし畑もあった。私はその屋敷の離れのような 10 畳の座敷に住んでいた。床の間には本物だと思われるずっしりとした重たい日本刀が置いてあった。時々刀を抜いて振り回していた記憶がある。大学三年生の時のある日の出来事である。火事で焼け出された同級の S 君が、真壁家の襖を隔てた隣の 6 畳の間に転がり込んできた。この機会だからちょっとしたエピソードを添えよう。

とても苦い思い出だが忘れることは出来ない。

早朝だったので私は眠っていたのだが、目を覚ますと枕元に静かに S 君がいるのである。彼は「火事になって焼け出された!」とポツリと言った。突然だったので一瞬何が起きているのかわからなかった。

「何のこと? 冗談だろ?」「嘘だと思うなら見てきたら・・・」という間の抜けた会話をしていた。S 君と一緒に彼のアパートに行ってみた。なんとそこは火災のため廃墟と化し、彼の住んでいた二階部分は完全に焼け落ちていた。私はしばらく呆然と焼け爛れてしまった家を見つめていた。

火元は二階に住んでいた S 君の斜め前方の学生のタバコの不始末だったようだ。京都の大学の画学生だったと思うが、油

絵が得意で、シンナーなどの有機溶剤を使用していた。寝タバコとそれらが原因だろうとのことだった。彼はその時に亡くなったと聞いた。他の大学であった彼とは一回挨拶をただけだったが、多感な時期だっただけに、一生忘れない出来事になった。

ところで焼け跡で同級生の S 君は一生懸命に何かを探しているのだ。思い出のものだろうと考えていたが、それは意外なものだった。ところで意外なものとは何だったのか？

なんとダンヒルのライターだった。彼がそのライターを見つけたかどうかは記憶にない。

私の下宿の大家さんであるおばあさんは 85 歳をとうに過ぎていて、最初の数カ月は卒業して広島に帰ってからも、再び上京してその都度当然のようにいつも泊めてもらっていた。まだまだ我が家だと思っていたし、おばあさんもそう考えていたようだ。医師国家試験を大阪で受けるので上京を繰り返していたのである。しかし高槻を出ていった翌年に火が消えるように亡くなったと聞いた。その頃はおばあさんの息子さんが住んでおられたが、家の仏壇にお参りをした。今は駐車場になっていて、ブロック塀だけが残っている。たまにクラス会が行われる暑い夏に訪れているがいつも物悲しい。

朝は当然のごとく絶食というか食事を工夫するというセンスはなかった。

昼食は大学の食堂のうどん、ラーメン？だった。麺類以外の学食のメニューは、全く覚えていない。だがめったに行かなかった。以下はよく行った店のご案内です。

最初はなんちゃらさんの民家(名前を忘れる薄情者です)

最初の頃、夕食は医師である先輩から紹介された一般の民家で、その家族と大学の文芸部で一緒だった友人 T 君と一緒に食べていた。午後 6 時からという決ま

りがあった。お爺さんとお父さんと奥さんと息子さん二人と 7 人でワイワイ言いながら食べていた。しかしサッカー部に入っていたし、時間帯が徐々に合わなくなったので数カ月でやめざるをえなかった。その家はとても親切であったが月 6000 円という金も痛かったのでやめた。今から考えれば、6000 円は 30 日で割ると一回 200 円であった。後になって量や質を考えると非常に安かったけど、いっぺんに払うために高いなあとふっと感じていた。

その頃、月ごとに送られてくる生活費は全部で 30000 円だった。そのうち 6000 円が下宿代だった。今から思うとその残りのお金の中から服や日用品を買ったりしていたが、別に「金がねえ、貧乏だあ」という思いはなかった。同級生の蒲刈島出身の親友 M 君は 1 カ月 25000 円だった。中学時代の同級生であり、九州工大に行った T 君は 17500 円だったとのこと。一番の裕福な S 君は 40000 円で、それが最高額だったように覚えている。それぞれ送られてくる時期がまちまちだったので、よく金の貸し借りをしていた。どうしてもダメな時にどうするかは長崎からやってきた N 君が教えてくれた。要するに何かを持って質屋に行くのである。私は背広、ラジオなどを質草として入れたが、とうとうラジオを買い戻すことは出来なかった。背広は私が保管するより、よほどきれいに保管してあった。質屋通いは、当座しのぎには本当に便利であった。

かつ井の店 ‘多津屋’

アーケードのある高槻センター街の ‘多津屋’ で、かつ井か W かつ (カツとご飯が別になっていた) を頼んでいたが、その頃としては大変なごちそうであった。W かつは高くそれを食べるということは懐具合が豊かであるという証拠になった。そこでも、お婆さんが仕切っており新聞にも載った有名店であった。もうお婆さんはいないけど、現在も残っており、今でも体育会系の学生たちに人気があるらしい。

レストラン ‘丘’

たまには、阪急高槻駅前のビルの二階にあったレストラン喫茶‘丘’というところで、チキンライス(スープ付き)かオムライス(スープ付き)、カレーライスを交互に食べていた。オムライスが一番の好物であった。

ちなみに一階はパチンコ屋であった。私は初めてパチンコで270円もうかって、ニヤニヤしていたらサッカー部の先輩から何かいいことがあったのか?と聞かれ、その理由を答えることができなかった。

コーラの味

S君が、初めて勧めてくれたコーラの味は、何とも奇妙な出会いだった。なんだかうすめた養命酒だと思い、すぐにはき出した。初めて飲んだのは鹿児島島の鶴丸グラウンドだったと思う。西日本医学部体育大会(西医体)のサッカー大会の練習グラウンドである。S君はうまいうまいと言っていたが、練乳派の私にとっては、なんとも言い難い味だった。

西医体一回戦突破の昭和41年の夏であった。

レストラン高槻 ‘スノーセンター’

一ヶ月に一回ぐらい、高槻～枚方線にある‘スノーセンター’と言うところのレストランでのハンバーグ・ステーキはとても美味しかった。ここでは必ずと言っていいほど一人で食べていた。孤独でもほんとうに充実した至福の時間だと感じていた。下宿からちょっと離れていたところにあったけど、自転車を飛ばしてわくわくした思いで行った。その頃レトルトものはなく、そこで作っていたのだと思う。スノーセンターと言うことから雪印と関係があるのだと思っていたが、全く関係なかったと卒業してから知った。卒業後しばらくして‘スノーセンター’を探してみたがもうどこなのかもわからなかった。今考えると、味は母の作るハンバーグに似ていた。

鉄板焼き ‘あいあい傘’

サッカーの練習帰りの日は、‘あいあい傘’という鉄板の店が帰り道にあり、先輩によくおごってもらっていた。下宿の近くだったので、それ以外の日もよく通った。そこでは、鉄板で何でも食べることができた。テキ、トン平、イカ焼きなど色々あったが、ご飯とみそ汁、ぶりの照り焼き、塩焼き、サバの塩焼きが好きだった。余裕のあったS君はよくテキを食べていた。旨いよと言われても、私は滅相もなく金もなく遠慮した。卒業して医師国家試験を大阪で受けたけど、我々の仲間に弁当を持たせてくれた。朝4時起きで作ってくれたらしい。その弁当を食べたものは全員合格した。ここで好み焼きを食べたことはない。

そこにはお婆さん二人と下ぶくれではきはきとした可愛い‘かねちゃん’という25歳すぎぐらいの若い店員がいた。

‘かねちゃん’は店では騒々しかったが、店を出たら恥ずかしがって人見知りをするタイプの人であった。後に‘かねちゃん’とは、私がいた東広島市の国立療養所で昭和49年に偶然に再会した。彼女のご主人の虫垂炎を主治医として手術後に説明するとき‘かねちゃん’がいたのである。広島に嫁に来たことは全く知らなかった。再会の時も恥ずかしそうで無口になっていた。

いつも鉄板を前にして女将さんは広島に遊びに行くからねって言っていたけど、まだ実現していない。

麺類と井の店 ‘八千代’

私にとって忘れてならないのは、‘八千代’といううどんと井の店。下宿に近かったので本当によく通った。きつねうどんではなく、けつねうどんと言っていた。この店は大学の入学式に母が来たときに、一緒に入った店である。母はけつねうどんを食べていた記憶がある。広島の人間のあの頃のうどんは‘ちから’のあの‘べちゃー’とした、舌に溶けるうどん以外知らなかった。さらにきつね自身が結構短冊型でこま切れ状態にあったものを想

像していたので、大きな揚げがそのまま出てきたのにはびっくりした。そこでは、天井、天ぷらうどん、焼きそば、肉うどんを注文していた。それも大体交互に注文していた。もちろん焼きそばライス、うどんライスとして食べていた。これはうどんや焼きそばをおかずにしてコメを食べるという関西独特の文化のようだ。お婆ちゃんと若い男の店員が作っていたが、いつも口げんかをしていて。お婆ちゃんが「そやなあにいちゃん」と私に同意を求めるのにはいつも閉口していた。とにかくこちらが、食べている最中もずう〜っと、口げんかをしていて。しかし、ここの店の味と量が気に入っていたので本当によくお世話になった。一昨年同窓会の折に行ってみたが店はすでになかった。一番のお気に入りには天井であった。今食べたら、あの頃のことを思い、たぶん涙が出ると思う。ここの味は広島で今でも好きなうどんと井の店‘わら路’の味によく似ていた。甘辛くてこくがあるのである。その‘わら路’も店を閉めてしまった。時の流れは冷酷だ。

なんちゃらという‘焼き肉店’

友人から焼き肉店を教えてもらって、よくいった店がある。阪急高槻駅の北側にあった。なんちゃらという店の名前は忘れたけど、そこで初めてミノを食べてうまかった記憶がある。これは長崎からきたN君の推薦であった。何の推薦かと言うとミノはいつまでも口の中に残っているというお得感に感動したからとのことである。広島の焼き肉店‘太郎’でミノを食べるのは、その時の名残りである。何気なく食べているが、実は思い出をかみしめながら食べているのである。もう‘太郎’という店も閉めてしまった。やはり時の流れは私にとって冷酷だ。

とんかつの店‘りき’

学生生活後期には、高槻センター街のはずれに、とんかつの‘りき’という店ができて、気に入ってヒレカツをよく食

べていた。店も小奇麗でヒレカツなのに値段も高くなかった。とんかつを食べるとなんとなく力がついて、店を出るときは、ちょうど高槻東映で見た高倉 健の映画を観たあのようなみなぎった感じがあった。

でも何がどの程度の値段であったのかは、ほとんど覚えていない。

大阪万博のシェイク

大阪で行われた万国博覧会には特別な思いがある。

大阪万博は何度も行ったが、特に夕方から半値になるので授業が終わってよく通った。アメリカ館は人が多くて行けなかったが、とにかく人のいない館を選んで歩きまわった。

デンマーク館だったと思うけど、初めてのシェイクを経験した。こんな味はそれまで知らなかったのだから、あまりのうまさに驚愕した。

今まで一番美味いと思っていた砂糖入りミルクバナナよりもうまかった。その後、広島に帰ってマックやロッテリアで同様のものを飲んだが、万博の時の感激はなかった。

それぞれの店にはそれぞれの思い出がある。

とにかくここまで書いてみて、色々なお婆さんとの付き合いが多かったと初めて感じた。お爺さんはいつも元気なかったか、最初からいなかった。

順位をつけると

1位 ‘あいあい傘’ ご飯、みそ汁、ぶり
or さばの塩焼き

2位 ‘高槻スノーセンター’ ハンバーグ
定食

3位 ‘八千代’ きつねうどんと天井

アルコールに関して

広島はサッカー王国だったから、出身地だけで勧められて、入学と同時にサッカー部に入部した。

そのときの最初の飲み会が大変だった。大阪ミナミの料亭での飲み会である。今から考えると未成年の 18 歳だったなあ。S くんが連れて帰ってくれたが、タクシーの窓ガラスから吐くものもないまま新鮮な酸素をもとめて身を乗り出していた。急性アルコール中毒で全身に真っ赤な発疹が出て翌日の学校は休んでしまった。その時、初めてアルコールの恐ろしさを嫌というほど味わった。病院にも行かずただひたすら気持ちの悪い思いを感じながら下宿で寝ていた。

私は下戸なのか？

もしあなたが私にアルコールはどうって言えば、下戸ですが好きだよと答えよう。私の父は、母親と結婚する時に「しょうしょうのみます」と言ったとか。しょうは、少でなくて升だったが・・・升升だから 2 升である。そしてその息子は下戸なのだ。だけど心身の調子のいいときは、かなり飲める。とにかく極端な飲み方になってしまう。3 回のマロリー・ワイス症候群を経験した今は怖くて飲まなくなりました。

最高に量を飲んだのは、学生時代に飲んだビールで大ジョッキ 5 杯に中ジョッキ 4 杯だ。45 年前の大ジョッキは現在のピッチャーぐらいあった。その後、自転車に乗って下宿に帰ったけど、はっきりとは覚えていないものの、たいした事故は起こらなかった。ただ飲んだ量を完全に覚えているので、意識はしっかりしていて愉快だったのだと思う。夏のビアガーデンだったが、一緒に飲んだ相手の一人は、大学の K 教授で、当時は学生部長だったと記憶している。私は団塊の世代なのだが、大学紛争の前だったのか後だったのかは覚えていない。K 教授も「藤井君、藤井君！」と一緒に酔っ払っていた。この頃のことは曾野綾子著の『太郎物語』とよく似ている。アルコールに弱いはずなのに飲めた理由として考えられるのは、おしゃべりしながら大いに食べながらゆっくりと飲ん

だからだと思う。そして体調も極めてよかつたのだと思う。体調がよいとは心身ともに良いことをいう。

このように記憶をたどっていくと、色々なお婆さんにずいぶん可愛がられたようだ。そして S 君には世話になっていたんだなあ。最近元気になっているのだろうか？佐々木 尚くんありがとう。それから食事に関して大変お世話になった松野一族、とくに松野くんのお婆さんの話をすると膨大な量になるので割愛しています。おばあさん達ありがとうございました。おばあさん達の年齢に近くなりましたが元気に生きています。

2016. 10. 05 未完

古来稀なり

壠水尾哲也（学 22 期）

私が幼かった頃、路地にも学校にも子供が溢れていた。

スイカは井戸で、来客のときに買う瓶ビールは氷水を張ったバケツで冷やしていた。

チョコレートとバナナは高価で、めったに口に入るものではなかった。

近所にはまだオーストラリア軍の駐留施設跡が残っていたが、日本は力強く歩み始めていて、まもなく私たちは国と一緒にいっせいに走りだした。

「人生七十古来稀なり」と言われた七十歳を、昭和 22 年生まれが迎えようとしている。これだけ多くの人々がいっせいに古希を迎えることこそが古来稀な事であろう。ふと気が付けば、チョコレートもバナナも店先にあふれていて、スイカもビールも家の冷蔵庫で冷やされている。さてこのあたりで一休みと思うのだが、時は、走れ、と私を急がす。しかたなく息を切らせながら走り続けるのだが、時のたつのはなんと早いことよ。

高槻で過ごした大学時代をつい昨日のように感じながらついに古希の時を迎えることとなった。

高場憲夫（学 30 期）

古希のお祝いをお送りいただき有難うございます。

仁泉会広島支部の皆様方、ご無沙汰をいたしており、申し訳ありません。

広大内科研修医として広島に来て以来、仁泉会の先生には大変お世話になって、感謝申し上げます。私の実父は会社員で、東京都中野区、大阪市堂島、名古屋市熱田区、愛知県知立市、長崎市と転勤のため各地を転々としていました。私が神戸大学法学部にいたとき知り合った妻と、東芝青梅工場勤務を経て、結婚。大阪医大に再入学し、10 年年下の世代と学びを共にしました。従って親戚にあたる八木徹、敦夫先生のご兄弟、学 27 期稲垣昌紀先生と学 28 期小野先生、岡橋先生、橋本先生、大木先生、稲垣和郎先生ぐらしか広島に知っている先生はあまりいませんでしたので、仁泉会に出て横山滋先生の洗練された立ち振る舞いやワイン談義、藤高道也の同窓会活動への情熱、手品の上手な伊藤稲造先生、テニス談義では林剛吉先生と、それぞれ人生を楽しんで生きておられる姿に、いつか自分もなりたいたいものだと思っていました。そして第一内科医局員時代には呉の長尾澄雄先生には病院のアルバイトでお世話になりましたし、三次の近くには甲奴の高橋吉雄先生や上下の三玉久雄先生などがおられ、親しくさせていただきました。養父の急逝で昭和 63 年三良坂町の医院を継承してからは、次第に仁泉会に出なくなり、広島医学会などではよくお会いする平田忠範先生が支部長になられてもなかなか出席することが出来ないままになっています。同級生だった小泉病院精神科に勤務しておられた森田俊彦先生とはその内に会いに行こうと思っている間に亡くなられてしまい残念な思いがあります。三次地区医療センターに勤務されていた平賀正文先生が医院継承されて、幹事になられておられますが、宇品には子供達が住んでいたマンションがあるので、月に数回帰り、近くをよく通るのですが、会えていません。思いを残して死なない様、支部総会には都合がつけば出たいと思っています。

近頃は歯・眼・頭とも悪くなり、ジェネリックに変えた薬の名前がなかなか思い出せません。午後の数時間は介護施設回りをしています

が、親の介護はみられない共稼ぎ家族が増え在宅施設の利用者が増えるのに反比例して外来患者が減っており、娘二人は医業には関係ない方と結婚し、自院は自然廃業になるしかありませんので、70 才を迎えたら年金支給手続きをして、時には休んで海外旅行でもしたいと夢想しています。母親は若くして乳癌となったので、私もいずれ腺癌になるものと思っていましたが、遺伝子は弟の方に強く行ったようで大腸癌切除後転移癌のため享年 62 才で亡くなりましたが、私は未だ病気らしい病気をしていません。この夏に死ぬまで使うかなと思っていた X 線出力装置が故障し、今からリースを抱えていると手続きが面倒という思いもあり、大枚を払って 9 月に X 線の電子化に踏み切りました。エコーや内視鏡も同じ年数を経ていますので、壊れたらどうしようかと悩みながらの診療生活をしています。

仁泉会広島支部の先生方の益々のご発展を祈念いたします。

— 業 務 日 誌 —

平成 28 年 3 月 24 日 (木) : 第 1 回幹事会 (小野誠治、平田忠範、灰塚隆敏、松野堅、岡東周一郎、伊達幸生、中崎育明、貞岡達也、平賀正文出席) を「シサール」(タカタビル 4 階) で開催した。理事会報告、広島県支部新年会報告、「暁映ゆる」24 号発送の報告をされた。

総会を 6 月 11 日土曜日に ANA クラウンプラザホテルカメリアで行い、その後大阪医科大学仁泉会副理事長、安藤嗣彦先生のご講演と懇親会を開催することを決定した。ゴルフは、昨年と同様の時期、5 月 29 日に郷原カントリークラブで行うことを決定した。

平成 28 年 5 月 26 日 (木) : 第 2 回幹事会 (小野誠治、灰塚隆敏、松野堅、清水泉、岡東周一郎、伊達幸生、中崎育明、貞岡達也、谷充理、平賀正文出席) を「シサール」(タカタビル 4 階) で開催した。

平成 28 年 5 月 29 日 (日) : 郷原カントリークラブでゴルフコンペを開催し、ミーティングも行った。

平成 28 年 5 月 26 日 (木) : 第 2 回幹事会 (小野誠治、灰塚隆敏、松野堅、清水泉、岡東周一郎、伊達幸生、中崎育明、貞岡達也、平賀正文、谷充理出席) を「シサール」(タカタビル 4 階) で開催した。理事会報告、ゴルフコンペ報告、総会参加予定人数の報告があった。

総会、講演会、懇親会の役割について協議し、逝去会員の確認を行い、会員慶事の報告により、会則に基づいて記念品を贈呈することを決定した。

平成 28 年 6 月 11 日 (土) : 平成 28 年度仁泉会広島県支部総会並びに懇親会を、広島 ANA クラウンプラザホテル 4 階カメリアにて開催した。

総会は、物故会員 (神田一郎先生 (高 19)、池田多加志先生 (学 1)、八木敦夫先生 (学 21) 米花孝文先生 (学 25)) への黙祷、支部長からの報告、会計・監査報告を行った。

続いて、仁泉会副理事長 安藤嗣彦先生 (学 20 期) による「仁泉会ならびに大阪医科大学の現況と今後のビジョン」の講演を拝聴した。

その後、懇親会を開催した。会員慶事紹介、ゴルフコンペ成績発表があり、出席会員の自己紹介と近況報告があった。最後に参加者全員で学歌を斉唱した。出席者 28 名であった。

平成 27 年 10 月 13 日 (木) : 第 3 回幹事会 (小野誠治、平田忠範、松野堅、岡東周一郎、伊達幸生、中崎育明、平賀正文、長尾光史、芳谷伸洋、谷充理) を「シサール」(タカタビル 4 階) で開いた。仁泉会理事会報告、広島県支部総会の報告、参加者集合写真と総会記を仁泉会本部へ電子メールで送信したことを報告し、「暁映ゆる」25 号の件について協議した。

平成 29 年仁泉会広島県支部総会の日時、場所について協議をおこなった。

平成 27 年 11 月 17 日 (木) : 第 4 回幹事会 (小野誠治、平田忠範、灰塚隆敏、岡東周一郎、伊達幸生、平賀正文、長尾光史、芳谷信洋) を「シサール」(タカタビル 4 階) で開催した。仁泉会報告、平成 29 年支部総会、ゴルフの会、「暁映ゆる」第 25 号、平成 29 年新年会、会計の交代について協議した。

大阪医科大学仁泉会広島県支部幹事（平成 28 年）

大阪医科大学 支部長 仁泉会理事	小野誠治（学 28 期）	Tel 082-231-8585	Fax 082-231-8589
顧問	平田忠範（学 19 期）	Tel 082-870-1555	Fax 082-870-1202
幹事	灰塚隆敏（学 23 期）	Tel 082-221-6909	Fax 082-222-6968
幹事	松野 堅（学 23 期）	Tel 082-221-1337	Fax 082-222-3200
幹事	清水 泉（学 28 期）	Tel 0823-34-2511	Fax 0823-34-2510
会計	岡東周一郎（学 31 期）	Tel 082-232-5514	Fax 082-295-6595
幹事	伊達幸生（学 32 期）	Tel 082-289-0529	Fax 082-258-1141
幹事	中崎育明（学 34 期）	Tel 082-251-9554	Fax 082-251-9554
幹事	貞岡達也（学 35 期）	Tel 082-225-3387	Fax 082-225-3387
総務	平賀正文（学 38 期）	Tel 082-253-1569	Fax 082-253-1569
幹事	長尾光史（学 44 期）	Tel 082-943-5882	Fax 082-943-5883
幹事	芳谷伸洋（学 45 期）	Tel 082-289-3011	Fax 082-280-2001
幹事	谷 充理（学 50 期）	Tel 082-823-2220	Fax 082-823-4197

大阪医科大学仁泉会広島県支部平成 27 年度会計報告

(自平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

収 入	支 出	残 高
前年度繰越金 253,983		253,983
年会費 勤務医会費 (40 名) 200,000 開業医会費 (12 名) 37,000 総会会費 353,000 開業医 15,000 X 16 勤務医 10,000 X 6 幹事会会費 258,000 銀行利息 66	総会費用 (平成 26 年 6 月 14 日、 ANA クラウンプラザホテル) 宴会費 331,818 ゴルフの会への援助 22,000 会員慶弔費 56,892 古稀お祝い 26,892 香典 30,000 幹事会費用 301,000 銀行手数料 4,540	
小 計 848,066	716,250	131,816
総 計 1,102,049	716,250	385,799

平成 27 年 4 月 1 日

会計担当 岡東 周一郎

会計監査 清水 泉

— 編集後記 —

平成 28 年の「暁映ゆる」25 号を編集できました。

本号は製作が大変遅くなりました。2 月中には終わろうと思っていたところ、半年過ぎてしまいました。私の至らないところです。関係者の皆様申し訳ございません。記録として残ってくれればたいへんうれしく思います。

そして、平成 28 年を振り返ってみます。まず、最初に挙げたい平成 28 年の出来事と言えば、ノーベル医学生理学賞に大隅良典東京工業大学栄誉教授がオートファジーで受賞されたことです。

大隅先生の研究について印象深いことは、一貫して酵母を使いオートファジーの分子機構の解明に一貫して取り組まれたことです。一生をかけて同じテーマで研究し続けることができたことが私はうらやましいと思いました。

世界的な話題として私が関心を持ったのは、5 月 27 日にオバマ大統領が広島を訪問したことです。広島では、影響が大きかったのですが、ほかの都市ではどうでしょうか。長崎市くらいしか反響がなかったのではないかと思います。11 月 8 日にアメリカの大統領がトランプ大統領になりましたが、今後世界はどのようになるのでしょうか。

今年も、去年と同様に災害が起きました。4 月 14 日に熊本県、大分県で震度 7 の大きな地震が起きました。大きな影響がまだあります。私自身が継続して支援できるのは熊本県、大分県に観光に行くことだと思います。

スポーツの話題としては、平成 28 年はオリンピックイヤーでした。リオオリンピックが 8 月 5 日から開催されました。リオオリンピックの記録よりも 2 月に中南米で流行しているジカ熱が、4 類感染症に指定されました。

上で取り上げたこと以外で、日本社会で関心がある出来事は、7 月に生じたポケモン GO の流行でした。携帯ゲームアプリですが、運

転中、歩行中の使用がみられ、無断での立ち入りもあって社会問題化しました。スマートフォンで社会が変化していく一つの象徴的な出来事だと思っています。6 月 1 日に消費税増税延期となりました。平成 31 年 10 月まで消費税を 10%に上げないと安倍首相が表明しました。医療の消費税問題は解決する目処は立っていません。

天皇陛下が 8 月 8 日に「象徴としてのお務め」についてのお気持ちを示したビデオメッセージを公表されました。今上天皇の退位が現実となりました。

医療の面で気になることを追加します。平成 28 年の 1 月から全国がん登録制度が開始されました。国が一元管理することになりました。6 月には週刊現代が一部の医薬品に対して不安を煽る記事を連続掲載し、医療現場が混乱しました。私は予想した範囲なので、予定通り対応しただけで済みました。

そして、6 月 17 日にセルフメディケーション推進税制が開始されました。私は大問題になると思っていたのですが、医師会、医学会とも問題にしていなかったようでした。新専門医制度の開始を平成 28 年度にする予定だったのが、1 年延期になりました。延期してそれぞれの立場の人の利害対立が解消できるのでしょうか。

今年も、原稿を送付いただきありがとうございました。今後とも暁映ゆる読んで、仁泉会広島県支部のことを知ることができたなら、うれしく思います。

平賀正文（学 38 期）